

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
「葉っぱのランプシェード」	中	つくる (美術)	河合

<ねらい>

- ・ランプシェードに興味やイメージをもち、活動に取り組む。
- ・落ち葉の色に興味をもち、色液作りができる。
- ・道具（霧吹き）を使ってまんべんなく、障子紙を染めることができる。
- ・作る工程に見通しをもち、手指先を使って、切ったり貼ったりできる。
- ・置き台作りでは、粘土に興味をもち、自分で模様や釉薬の色を自分で選んで活動できる。



<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ① いろいろなランプシェード見てイメージし、興味をもち。
- ② 色液を作る。（茶・黄・赤・オレンジ）
- ③ 霧吹きで障子紙をまんべんなく染める。
- ④ 染めた紙を半分に折り、描かれた曲線をはさみで切り、葉っぱを作る。15枚
- ⑤ 葉っぱの中央線にボンドをつけ、長さ（3種類、5本ずつ）のちがう針金を貼り付ける。
- ⑥ ⑤を針金に沿って折り、針金が見えないように折り返す。
- ⑦ 工作用紙のテープに3種の色事に針金を置く。（LEDのライトの円周を測り、
- ⑧ 15本の葉っぱのパーツが並べられるように間隔を考えて色線を入れる。）
- ⑨ ⑦を輪っかにする。もう一枚のテープを貼り、針金を固定する。
- ⑩ ⑧の周りをクラフトテープバンド（LEDが隠れる高さ）で巻く。
- ⑪ 粘土を麺棒でのばし、置き台を作る。模様をつける。素焼きした後釉薬の色を自分で選んでかける。釜で焼く。
- ⑫ 置き台、LEDライト、ランプシェードの順で組み立てる。暗室できあがりを見る。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・⑥の活動が難しかったようだが、15枚あったので積み重ねの取り組みができた。
- ・長さのちがう葉っぱを作ることで紙の重なりに動きがあり、できる光の影も異なり、陰影を楽しむことができた。又、LED電灯は3色の色が発光し、色が変化していく様子も楽しめた。LED電灯は電池が必要だが、安全面でも有効である。
- ・ランプシェードは風船で張り子のように作っていく方法もあるが、球体で立てて作っていくため、取り組みづらさがある。今回の発達段階の生徒には、平面で活動できるランプシェードをと考えた。同じ活動ができ、生徒間で活動の差があまりできないのでよかったと感じる。

<その他（材料、費用、購入先等）>

材料：絵の具、障子紙、ボンド、針金・フラワーテープ（造花用）、クラフトテープ、LEDライト、陶芸用粘土・釉薬（今回は費用に含まれていない）

費用：600円くらい

購入先：ロイヤルホームセンター、イオン、オオishi、ダイソー、メルシー